

＼今年で12回目！ 屋上で稲作体験／ 小学生が戸塚区役所の屋上水田で 稲刈りを行います！



戸塚小学校5年生（5クラス・177人）が、戸塚区役所8階の屋上水田（地上34m、約50㎡）で、JA横浜や舞岡町の農家等の協力を得て、お米づくりを行っています。

屋上水田でのお米づくりは、平成25年の区役所移転から始まり、今年で12回目になります。

6月に児童が植え付けた苗に穂が実り、いよいよ稲刈りを行います。児童が鎌を使って刈り取りに挑戦し、収穫の秋を実感するとともに、農業への理解や地産地消への関心を深めていただきます。

1 稲刈りの概要

日時：令和7年10月2日（木）9：20～11：30頃

場所：戸塚区総合庁舎8階 屋上農園内の水田
（戸塚区戸塚町16-17、JR・市営地下鉄戸塚駅徒歩2分）

※品種は「はるみ」です。

※天候等により、順延・中止の可能性があります。

※稲刈り後は、屋上農園で天日干しを行い、12月に横浜市立戸塚小学校にて脱穀・精米作業を行う予定です。その後、児童たちが新米を味わいます。



<昨年の稲刈りの様子>

2 6月の田植えの様子

最初はドキドキしながら田んぼに入った児童たちでしたが、いざ植え始めると「田んぼの中って、ぬるぬるしていて気持ちいいね。」「とっても楽しい！もっと植えたいな。」と、水田の土の感触を楽しみながら、約600株の苗を植え付けました。



<田植えの様子>



<8月の水田の様子>

3 取組の効果

児童たちが、自ら田植え、稲刈り等を行い、新米を味わう体験を通して、農業への理解や地産地消に関する関心を深めます。また、JA横浜、舞岡町の農家、児童の保護者、屋上農園内の畑で活動する市民ボランティア等の皆さんの協力を得て行われており、地域の人と人をつなぐ場にもなっています。この取組を通じて、市街地の屋上水田が、食糧生産だけでなく、環境保全や地域のつながり作りにも貢献しています。

（裏面あり）



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 屋上農園について



市民ボランティアと南部農政事務所が協力しながら管理を行っています。

面積等	
水田	約 50 m ²
畑	約 40 m ² (9区画)
壁面果樹園	プランター14 基
芝	約 145 m ²

5 屋上水田の特徴

(1) 不^ふ耕^{こう}起^き栽^{さい}培^{ばい}

屋上水田は、荷重の関係から耕土の厚さが通常の水田よりも薄く、通常の水田のような耕うん（耕す作業）や 代かき（植付前の水田に水を入れ、機械等で土をかくはんする作業）ができません。また、深く掘ると下層の防水シートを傷め漏水の恐れもあります。そこで、不耕起栽培という耕うんや代かきを行わない、もしくは最小限しか行わない方法で栽培しています。

(2) 環境にやさしい屋上水田

屋上水田は、昆虫、水生生物など多様な生きもののすみかとなり、良好な生態系、生物多様性の保全の一助となっています。また、植物による被覆や蒸散作用により、温度上昇の抑制やヒートアイランド現象の緩和等にも貢献しています。

<取材について>

- ・稲刈り当日(10月2日(木))の撮影や小学生へのインタビューなどを取材いただけます。
 - ・取材いただける時間は、9時20分から10時00分頃までです。
 - ・取材をご希望の場合は、10月1日(水)17時まで、下記お問合せ先まで御連絡ください。
 - ・雨天等により順延となった場合、10月3日(金)の開催を予定しています。
 - ・12月5日(金)午前中に横浜市立戸塚小学校にて、脱穀・精米作業を行います。
- 取材をご希望の場合は、12月4日(木)17時まで下記お問い合わせ先まで御連絡ください。



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

お問合せ先

みどり環境局南部農政事務所長 田並 静 Tel 045-866-8490



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷